

プール改修助成決定書授与式



▲市民の健康づくりに努めます

2022年度「にかほ市象潟B&G海洋センター修繕助成」決定書授与式
8月10日、道の駅象潟「ねむの丘」でプール改修助成決定書授与式が行われました。助成金額は3,000万円で象潟B&G海洋センターのリニューアル工事費用の一部に充てられます。このリニューアルにより地域住民の健康とコミュニティづくりの拠点として、更なる利用者の拡大が期待されます。

第50回全国消防救助技術大会

▷水上の部（水中結索）／入賞…にかほ市消防署（兼松翔、須田翔馬、佐々木佑）…3人1組で、スタート地点から20m先の水中に沈めてある結索環に3種類の指定した結索をリレー形式で行い、その安全確実性と所要時間を評価する競技です。今大会は東北代表として出場しました。

5歳児健診でむし歯のなかったおともだち

齋藤愛叶（平沢）／佐々木結菜（平沢）／須藤すみれ（室沢）／高橋莉々那（琴浦）／佐藤美玲（室沢）／佐々木悠佑（寺田）／榊原朱織（花潟区）／野中奏弦（北金浦1区）／大塚湊斗（小浜・唐ヶ崎）／山崎陽葵（28区）／齊藤紇那（28区）／渡邊雅大（34区）／齋藤有那（上狐森）／佐々木奏来（松ヶ丘）／佐々木彩華（鳥の海1区）／渡邊咲空（大砂川）／佐藤佑都（小滝）／櫻山よつは（大森）

4年ぶりのショーは大盛況 米村でんじろうサイエンスショー

9月17日、仁賀保勤労青少年ホームで米村でんじろうサイエンスショーが開催されました。4年ぶりに当市で開催されたショーには多くの親子連れが訪れ、テレビ等でおなじみの「空気砲」や液体窒素を使ったペットボトルロケットなどさまざまな実験が実演されたほか科学についてのクイズも出され、多くの子どもたちが科学する心を育みました。



▲おなじみの空気砲には大歓声が上がりました

ギガスクール 新しい授業の style

理科「メダカの卵の育ち方」(象潟小5)

タブレットでメダカが孵化するまでの過程の順番を並び換えたり、表した絵にタッチペンで説明を加えたりして、視覚的に育ち方を捉えることができました。



文科科学省のGIGAスクール構想に基づき、各小・中学校に配置された1人1台のタブレット。本格実施2年目の「ムネ」をレポートします。

大会2連覇、そして東北2冠に輝く 第47回社会人野球日本選手権東北最終予選

9月8日から11日までの4日間、宮城県の球場を会場に社会人野球日本選手権東北最終予選が行われ、にかほ市に本拠地を置くTDK硬式野球部が出場しました。同チームは初戦から決勝まですべて東北のライバルチームと対戦。決勝は日本製紙石巻を3対0で下し、10月30日から開幕する本大会の出場権を手に入れました。



▲準決勝の七十七銀行戦で先制点を取り喜ぶナイン

全大会でもっとも過酷なコース 鳥海山 SEA TO SUMMIT 2022

9月10日から11日までの2日間、にかほ市と遊佐町で鳥海山SEA TO SUMMIT 2022が行われました。今回で10回目を迎えた本大会。大会当日は晴天に恵まれ、110人の参加者はカヤック、バイク、バイクの競技で海拔0メートルの西浜海岸（遊佐町）から標高2,160メートルの鳥海山大物忌神社を目指し、大自然の中で自分の限界に挑戦しました。



▲にかほ市を眼下にゴールを目指す参加者

防災への意識を一層高める にかほ市総合防災訓練

8月27日、象潟公民館を主会場にかほ市総合防災訓練が行われました。消防士による消火訓練が行われたほか、自衛隊等の災害時出動車両、先ごろ災害時における提供に関する協定を結んだトレーラーハウスの実車展示、防災士による防災講演会などが行われ、参加者の防災への意識を一層高める訓練となりました。



▲象潟構造改善センターでの火災を想定した消火訓練

将来の国づくりのヒントを探る JICA青年研修

9月9日、JICA青年研修団が大竹地区のイチジク畑などを視察しました。これは、アフリカで農業分野の機関に勤める職員が日本の技術を学ぼうと秋田県を訪れたもので、この日は5か国の研修生が熱心にイチジクの栽培方法などを学びました。母国でも自生するイチジクの価値を感じた研修生は、母国の農業発展のヒントを得ている様子でした。



▲生産者の説明に熱心に耳を傾ける研修生

宝くじ社会貢献広報事業 黒川自治会館エアコン等設置

このたび、黒川自治会で当事業を活用し、自治会館にエアコンや冷蔵庫などが設置されました。これは、一般財団法人自治総合センターが、



▲設置されたエアコン

宝くじの受託事業収入を財源に社会貢献広報事業として実施しているコミュニティ助成事業として整備されたものです。